



メールマガジン
全部協プライムニュース

<https://www.zenbukyo.or.jp/>

全日本自動車部品卸商協同組合

2026年1月号

このメールは、組合員、賛助会員、及び配信希望登録を頂いた、組合員企業の社員、関係機関・団体・企業の皆さんにお送りしております。

※このメルマガは目次に記載された順に記事が掲載されております。記事本文につきましては下方にスクロールしてお読みください。

CONTENTS

1. 令和8年（2026年）理事長年頭所感

2. 全部協活動報告

- 1) 本田技研工業(株)との懇談会を実施
- 2) 井野俊郎経済産業副大臣を表敬訪問
- 3) 「第29回正副理事長会議」を開催

3. 支部・ブロック協議会活動報告

- 1) 福岡県支部が理事会を開催
- 2) 京都府支部が新春懇談会を開催

4. 自動車業界のニュース

- 1) 2025年の新車販売台数は456万台
- 2) 「東京オートサロン2026」に27万人来場
- 3) 自動車機械工具2団体が賀詞交歓会を開催
- 4) (一社)日本自動車整備振興会連合会が新春懇親会を開催
- 5) (一社)日本自動車リサイクル部品協議会が創立30周年記念祝賀会
- 6) (一社)日本オートケミカル工業会、(一社)全国自動車用品工業会が合同で賀詞交歓会
- 7) 「第23回国際オートアフターマーケットEXPO2026」2月12日から開催

5. 統計情報

- 自動車販売統計
整備工場統計

6. 組合員異動報告

7. 事務局からのお知らせ

- 1) 「第15回オンラインプロモーション」を実施します
- 2) 福利厚生サービス「ベネフィット・ステーション」取次ぎを開始しました
- 3) 代表者等に変更のあった場合のお願い
- 4) 「WEB共通互換品番検索システム」ご相談窓口を開設しています
- 5) 全部協の共同購買・あっせん事業をご利用ください
- 6) 日本フィルターエレメント工業会とエアフィルター販売促進で協力しています

8. 全部協会議・活動日程

9. メルマガ配信アドレス登録のお願い

10. 付録

- 1) 「Zen-bukyo Toolモール」利用のQ&A
- 2) メルマガ添付版：デッドストック部品運用ガイドライン
- 3) リバーツダイレクトの広告
- 4) その他の広告リンク
 - ・株式会社AAC

1. 令和8年（2026年）理事長年頭所感

全日本自動車部品卸商協同組合

理事長 森川 等

あけましておめでとうございます。皆様方におかれましては穏やかな新春を迎えられていることとお慶び申し上げます。

昨年を振り返りますと、4月に米国のトランプ大統領が日本からの輸入品に対し24%の関税を課すと発表しました。この中には自動車および自動車部品も含まれています。このトランプ関税は日本の自動車産業とそれを支えるサプライチェーンに多大な影響を与えて

おり、完成車メーカーと部品メーカーは関税コストの増加や販売台数の減少による業績悪化などの影響を受けています。関税交渉の結果、関税率は引き下げられましたがそれでもなお大きな負担となっており、経営戦略の見直しを余儀なくされています。私たち部品商はアフターマーケットにおいてラストワンマイルを担っていると自負していますが、このトランプ関税の影響が様々な業界に及ぶことで、経営環境が大きく変わり我々の今後の戦略や方向性の見直しを余儀なくされる可能性も考えられます。その一方で「EXPO2025大阪・関西万博」が開催され、多くの来場者で賑わいました。また「令和の米騒動」も発生し備蓄米の放



出をめぐって混乱が生じました。昭和100年にあたる年として、日本の近代史を振り返る機会だという声も多く聞かれましたが、私たちを取り巻く様々なことがビジネス環境に影響を及ぼした1年でもありました。

近年のデジタル需要の増加にともない、自動車産業にもあらゆる方面でデジタル化が進んでいます。一例としてカーシェアリングでもデジタルキーを採用したり、車の利用状況確認やキャンセル待ちの登録ができるようにしたりと、ユーザーの利便性向上につながるデジタル技術は欠かせなくなっています。中でも、IoT技術を活用したコネクテッドカーは、車両の状態や道路状況などあらゆるデータをセンサーで取得、分析することで安全性や快適性を実現しています。また、緊急通知システムや盗難車両追跡システムなどが備わり、さらなる市場の拡大も予想されています。それとともに、生成AIの進化は、自動車産業に大きな変化をもたらしており、自動車メーカー各社は生成AIの自動運転への応用でしのぎを削っている状況です。従来の自動運転は、システムによる状況把握や判断をエンジニアがあらかじめプログラムしておく「ルールベース」という考え方を主流にしていましたが、ルールベースはほとんどの状況に対応できるものの、低い確率で遭遇する複雑な状況に対応するのは困難です。生成AIは、こうした自動運転の技術的な困難を突破する可能性があると言われています。

今後このような車が普及しストックしていくと、私たちの顧客である自動車整備業ではハイブリッド車やPHV車ばかりではなくEVや自動運転技術の進化にも対応するため、仕事内容が高度化・専門化することは確実です。技術の変化に柔軟に対応し新しい知識やスキルを積極的に習得することで、「工具の技術者」から「ITと機械を融合できる専門職」になっていくであろうと予測されています。

このようなことを踏まえ、私たち部品商は注文された商品を正確にお届けするだけにとどまらず、整備業のデジタル化、技術革新と業務効率化をサポートし、顧客である整備業者の皆様に必要な知識、情報、整備機器を提供すると同時に問題解決のために協力していくことが重要な役割と考えています。

昨年、東京ビックサイトで開催された「ジャパンモビリティショー2025」では、各ブースに多様なモビリティが集結し未来社会の縮図を感じさせる空間となっていました。中でも「働くクルマの進化」は著しく、特に大型商用車の領域で「水素」が主役になっていることは今後の業界全体の潮流を示しているように思えます。バッテリーEVが次世代自動車の主流のひとつとして急速に進化する一方で、大型トラックは航続距離や充電時間、積載量の制約が壁となっています。こうした中、水素を利用した燃料電池や水素エンジン採用による環境に配慮したゼロエミッション化は、未来の構想ではなく現実的な解として動き出したと言えるのではないでしょうか。

全部協は技術革新、顧客ニーズや消費行動の変化に焦点を当てています。今後さらに進展するであろうデジタル技術の自動車への応用、生成AIを利用した自動運転技術は私たちの未来を展望する重要な要素です。AIやデジタル技術を活用し、人手不足解消や競争力の維

持を実現し、市場変化に対応する必要があると考えます。また、SDGsの普及とともに昨今ではエシカル消費が注目されています。今後は環境や社会に優しい商品とサービスの提供が求められると考えています。

スピードを上げて次々と押し寄せてくる自動車業界の変化の中、取り組むべき課題は山積していますが、私たち全部協は自動車アフターマーケットの発展のため、より一層尽力してまいる所存です。

最後になりますが、皆様方のさらなるご発展を祈願申し上げます。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

2. 全部協活動報告

※各委員会・会議の詳細は、全部協ホームページの組合員ルームに掲載される議事録をご確認ください。

1) 本田技研工業(株)との懇談会を実施

全部協は令和7年12月23日、本田技研工業(株)国内四輪営業部部品販売企画課との懇談会を事務局で実施しました。全部協からは森川理事長、新井副理事長、平山副理事長、長坂理事、森部理事、今川監事、荒井専務理事等8名が参加し、自動車業界およびアフターマーケットの現状や課題について意見を交わしました。

2) 井野俊郎経済産業副大臣を表敬訪問





全部協の森川理事長、新井副理事長、香川副理事長、中西副理事長、平山副理事長および荒井専務理事が、1月16日に経済産業省の井野俊郎副大臣を表敬訪問しました。

(上) 井野経済産業副大臣（中央）を囲み記念撮影する正副理事長

3) 「第29回正副理事長会議」を開催

全部協は1月16日に「第29回正副理事長会議」を開催しました。会議では令和8年度事業計画案や経営組織委員会、事業運営委員会等のメンバー選任・活動方針について協議したほか、6月開催予定の総代会の構成や併催企画を検討しました。

3. 支部・ブロック協議会活動報告

1) 福岡県支部が理事会開催

全部協福岡県支部（福岡県自動車部品商組合）は、11月28日に第3回理事会を福岡市の八仙閣で開催しました。理事会では全部協活動報告のほか、全九州自動車部品商組合（全九部）活動報告、各支部および実務協活動報告、令和8年度のスケジュール確認等を行いました。

2) 京都府支部が新春懇談会を開催

全部協京都府支部（京都府自動車部品商組合）は1月9日、京都市東山区のハイアットリージェンシー京都で令和8年新春懇談会を開催し、組合員、純正販社等から22名が出席しました。

井上雅文理事長は新年の挨拶の中で「世界情勢が混とんとする中での年明けとなつたが、自動車業界も少なからず影響を受けている。こうした状況下でも組合活動においては本日ご参集の純正販社様の協力も得ながら勉強会や交歓会を積極的に開催していきたい」と今年の抱負を述べました。

また来賓としてトヨタモビリティパーツ(株)京都支社の西村拓也支社長、日産部品近畿販売(株)の小貫俊郎社長が挨拶したほか、(株)ホンダパーツ関西の寺原次郎社長が乾杯の発声を行いました。

4. 自動車業界のニュース

1) 2025年の新車販売台数は456万台

(一社)日本自動車販売協会連合会（自販連）および(一社)全国軽自動車販売協会連合会（全軽自協）が発表した2025年の新車販売台数（登録車と軽自動車合計）は前年比3.3%増の456万5777台となり、2023年以来2年ぶりに前年実績を上回りました。うち登録車は

289万8417台で前年比1.2%増、軽自動車は166万7360台で同7.0%増です。一昨年（2024年）に認証不正による出荷停止で販売台数が減少したダイハツ工業(株)が反動増（前年比46.2%増）となったこと等が販売台数の増加に影響したとみられます。また車種別にみると、乗用車が253万3523台（前年比0.4%増）、貨物車が35万4988台（同7.4%増）、軽乗用車が130万2857台（同8.4%増）、軽貨物が36万4503台（同2.5%増）となりました。

2) 「東京オートサロン2026」に27万人来場

世界最大級のカスタムカーおよび関連商品の展示会「TOKYO AUTO SALON 2026（東京オートサロン2026）」が2026年1月9日から11日まで千葉県千葉市の幕張メッセで開催され、3日間で27万人が来場しました。また会期中のライブ配信再生回数は14万7907回にのぼりました。

国内外のカーメーカーや部品用品メーカーら389社が出展しカスタムカーやチューニング・ドレスアップ製品、部品用品等を展示または販売したほか、屋外会場でのF1マシンやラリー車両による走行コンテンツ、人気アーティストによるライブステージといった多数のプログラムが実施されました。

3) 自動車機械工具2団体が賀詞交歓会を開催

（一社）日本自動車機械器具工業会と（一社）日本自動車機械工具協会は1月13日、東京都千代田区のホテルグランドアーク半蔵門で「令和8年自動車機械工具二団体新年賀詞交歓会」を開催し、自動車機械工具業界関係者らが多数出席しました。日本自動車器具工業会の山田勝己理事長は挨拶の中で整備業界の深刻な人材不足について触れ「省力化に寄与する商品を販売することで人手不足解消に貢献していきたい」と抱負を述べました。

また、経済産業省製造産業局自動車課の高木直樹課長補佐（「高」は正しくははしごだか）、国土交通省物流・自動車局の久保田秀暢次長等が来賓挨拶を行いました。

4) （一社）日本自動車整備振興会連合会が新春懇親会開催

（一社）日本自動車整備振興会連合会（日整連）および日本自動車整備商工組合連合会（整商連）は、1月15日にパレスホテル東京で新春懇親会を開催し、日整連および整商連の理事および関係者らが出席しました。また来賓として国土交通省物流・自動車局の久保田秀暢次長が挨拶を行いました。

5) （一社）日本自動車リサイクル部品協議会が設立30周年

（一社）日本自動車リサイクル部品協議会は1月16日に東京都港区の第一ホテル東京で設立30周年記念式典を開催しました。

日本自動車リサイクル部品協議会は同日開いた会見で（一社）日本自動車リサイクル機構と統合する方向で協議を開始したことを明らかにしており、記念式典には日本自動車リサイ

クル機構の石井浩道代表理事も出席しました。

6) (一社)日本オートケミカル工業会、(一社)全国自動車用品工業会が合同で賀詞交歓会

(一社)日本オートケミカル工業会と(一社)全国自動車用品工業会は、1月21日に東京都新宿区のホテルグランドヒル市ヶ谷で「2026年合同賀詞交歓会」を開催しました。

両工業会の会員企業はじめ自動車業界関係者らが多数出席したほか、経済産業省製造産業局素材産業課の新田渉課長補佐、同自動車課の高木直樹課長補佐（「高」は正しくははしごだか）、国土交通省物流・自動車局自動車整備課の多田善隆課長が来賓として挨拶しました。

7) 「第23回国際オートアフターマーケットEXPO2026」2月12日から開催

「第23回国際オートアフターマーケットEXPO2026」が2月12日から14日までの3日間、東京都江東区の東京ビッグサイトで開催されます。部品用品、整備、カーディテイリング等のカーアフターマーケット関連商品やサービスが一堂に会します。

入場は完全事前登録制（無料）です。会期中に実施されるセミナーや出展者プレゼンテーションにつきましても全て事前登録が必要となります。セミナーについては公式ホームページの「セミナー情報」のページでスケジュール確認および予約が行えます。

入場ご希望の方は、以下の手順通りに事前登録を行ってください。

【事前登録手順】

下記リンクから公式サイトの「来場者事前登録」ページに入室し、登録フォームに必須項目を入力して送信してください。

◎来場者事前登録

5. 統計情報

国土交通省

認証・指定工場数及び新規・廃止状況（速報）

優良認定工場数（速報）

(一社)日本自動車販売協会連合会

ブランド別新車販売台数確報 2025年12月

(一社)全国軽自動車協会連合会

2025年12月軽四輪車新車販売台数確報

6. 組合員異動報告

1) 長尾部品株式会社（北海道）の代表取締役に鈴木康文氏が就任しました。亀山直基前社長は取締役会長に就任しました。

7. 事務局からのお知らせ

1) 「第15回オンラインプロモーション」を実施します

全部協 第15回オンラインプロモーション



コストが削減できるオンラインバンク フィンサーバンクという新常識

開催日時
2026年 2月10日(火)
16:00~17:00 参加無料



登壇者
株式会社 Finswer 取締役 CSO
相馬 研二

こんなお悩みありませんか？



振込手数料が高いと感じている
毎月の請求書の手入力が面倒
経理の専任がない
ネット銀行が使いにくい
振込のために銀行窓口に行っている



本セミナーで
ご紹介する
フィンサーバンクで全て解決します。

ご参加をご希望の方

参加方法 右の QR コードよりお申し込みください。

セミナー形態 Google Meet にて実施 (ミーティング URL は2月9日(月)にお知らせします)
※ Google アカウントをお持ちでない方もご参加いただけますが、可能な限りパソコンからのご参加を推奨いたします。
パソコンから参加される場合 (推奨) : Google アカウントは不要です。アプリのインストールも必要ありません。
スマートフォンから参加される場合 : GoogleMeet のインストールが必要です。
Google アカウントも必要な場合があります。

開催日時 2026年2月10日(火) 16時~17時(60分)

申込締切 2026年2月6日(金) 17時まで

主催者 全日本自動車部品卸商協同組合 事業運営委員会

お申し込みはこちら

＼スマートフォンの方／



＼PCの方／

こちらをクリック

本オンラインプロモーションに参加申込みいただく場合は、参加者所用事業所名、御氏名、メールアドレスが認明者に告知されることを承認したものとさせていただきます。

全部協は2月10日、「第15回オンラインプロモーション」を実施します。今回は「コストが削減できるオンラインバンク フィンサーバンクという新常識」をテーマに、業界最安値90円の振込手数料等で経理業務の効率化に寄与する法人向けオンラインバンク「フィンサーバンク」を(株)Finswer様が紹介します。

◎「第15回オンラインプロモーション」チラシ

2) 福利厚生サービス「ベネフィット・ステーション」取次ぎを開始しました

全部協は組合員の皆様の福利厚生充実を目的に、第一生命保険(株)のグループ企業である(株)ベネフィット・ワンの総合福利厚生サービス「ベネフィット・ステーション」の取次ぎを開始しました。

「ベネフィット・ステーション」は団体保険の付帯サービス「DL Benefit Premium」の内容が拡充されたもので、お申込みいただいた組合員の経営者、役員、社員及び二親等以内のご家族が飲食店や映画館、レジャー施設、ショッピングサイトをはじめ、健康支援、教育・研修支援といった140万以上の様々なサービスを割引でご利用いただけます。

また、会社が負担した入会金・月額料金は法人にあっては全額損金算入、個人事業主にあっては全額必要経費に算入できます。

福利厚生の拡充や人材確保、社員のスキルアップなど、多方面で役立つサービスとなっておりますので是非ご活用ください。サービス内容、利用料金等については下記URLからパンフレット類をダウンロードしてご覧ください。

※団体定期保険・新医療保障保険に未加入の組合員の方もお申込みいただけます。

◎「ベネフィット・ステーション」資料・説明申込書

※入会希望または詳細説明をご希望の方は『ベネフィット・ステーション説明申込書』に記入のうえ、全部協事務局まで送付願います。第一生命保険(株)の担当者からご説明いたします。

3) 代表者等に変更のあった場合のお願い

組合員の皆様へのお願いです。代表者や本社住所等、全部協にご登録いただいている情報に変更のあった場合は、早急に全部協事務局までご連絡のうえ、変更届を全部協までお送りください。各種変更届の様式は、全部協ホームページ内「各種申込関係」のページからダウンロードできます。何卒よろしくお願い申し上げます。

4) 「WEB共通互換品番検索システム」ご相談窓口を開設しています

全部協は「WEB共通互換品番検索システム」専用のご相談窓口を開設いたしました。互換品番検索システムをご利用中に不具合等のあった場合は下記までご連絡ください。

株式会社クレイドルボックス

電話：0277-46-9876

メールアドレス : support@cradlebox.co.jp

お問い合わせ対応時間 : 月～金 9時～17時

※土・日・祝日、夏期休業、年末年始休業期間はサポート対象外となります

上記へお問い合わせの際は「WEB共通互換品番検索システムについて」とお伝えください。お電話は混み合う場合がありますのでメールでのご連絡をお勧めいたします。メール確認後、必要に応じてメールまたはお電話いたします。予めご了承ください。また、お電話でのお問い合わせの際には発信者番号の通知をお願いいたします。

5) 全部協の共同購買・あっせん事業をご利用ください

全部協では組合員の皆様の事業活動を支援するため、共同購買サイト「ZEN-bukyoモール」、「ZEN-bukyo Toolモール」を通じた共同購買事業およびあっせん販売事業を行っています。

共同購買事業の取扱商品については、「ZEN-bukyoモール」、「ZEN-bukyo Toolモール」から、あっせん販売商品については全部協ホームページの組合員ルームからご確認ください。お得に購入できる商品が多数掲載されており、積極的なご利用をお願いいたします。

6) 日本フィルターエレメント工業会とエアフィルター販売促進で協力しています

全部協は、日本フィルターエレメント工業会が展開しているエアフィルターの販売促進活動に協力しています。

日本フィルターエレメント工業会では、エアフィルターの素材が不織布中心となることによりエアブロー清掃の効果が限定的であること、エアフィルターの汚れがエンジンや燃費に及ぼす悪影響等を広く周知し、適正な交換を呼びかける取り組みを進めています。全部協でも、定期交換の重要性や適正な交換目安について組合員や得意先に広く周知・啓発し、潜在需要を掘り起こすことでエアフィルターの販売拡大につなげられるとして、同工業会や卸商社と連携し販促活動を進めています。

◎エアフィルター交換促進チラシ（日本フィルターエレメント工業会製作）

エアフィルターは、
適正に交換しましょう！



新品のエアフィルター



使用後のエアフィルター



エアフィルターには「性能期限」があります

エアフィルターの交換時期は、車の利用環境や利用頻度によって大きく異なりますが、

走行を続けると確実に汚れるので定期的な点検と交換が必要です。

交換の目安は4～5万km毎
(シビアコンディションの場合は2～2.5万km毎)

※詳しくは弊社手帳をご確認ください

エアブローの清掃では、ろ材に
こびりついた汚れは吹き飛ばせない
ので交換しましょう！

交換時期をむかえたエアフィルターは新品に交換しましょう！

8. 全部協会議日程

全部協会議・活動日程につきましては、下記のリンクをご覧下さい。

[2025年度会議・活動日程](#)

9. メルマガ配信アドレス登録のお願い

このメルマガは、組合員、賛助会員の配信希望登録をいただいた組合員企業の社員、関係機関・団体・企業の皆様にお送りしております。

配信をご要望の場合は、全部協ホームページからメルマガの配信登録をお願いいたします。組合員と賛助会員以外の方は、事務局にて確認のうえ、配信の取り計らいをさせていただきます。

10. 付録

- 1) [公式LINEお友達募集中です](#)
- 2) [「ZEN-bukyoTool モール」利用のQ&A](#)
- 3) [デッドストック品掲載ガイドライン](#)
- 4) [「リバーツダイレクト」広告【PDF】](#)
- 5) その他の広告リンク

[株式会社AAC](#)

本メールマガジンへのご意見、ご感想、お問い合わせ

全日本自動車部品卸商協同組合事務局

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3-4-2 商工会館ビル6階

Copyright (C) 全部協事務局

[お問い合わせ 配信停止](#)